

# さんつな通信



2014年12月1日号

発行元：  
一般社団法人三陸ひとつなぎ  
自然学校  
釜石市橋野町34-46-1  
電話/FAX 0193-55-4630  
発行責任者：代表理事 伊藤聰  
編集人：みけねこ

三陸ひとつなぎ自然学校(さんつな)は、旧橋野保育所を拠点に、観光ツアーや子どもキャンプ、ボランティア&インターンコーディネートなどを行っています。早いものでもう年末です！今年もみなさまのご支援のおかげで無事過ごすことができました。ありがとうございます！今年最後のさんつな通信も内容盛りだくさん！ぜひご一読ください。



2014.12.1 代表理事 伊藤聰

## 11月4～9日 根浜で人と地域をつなぐ『コミもり』づくり

11月4～9日までの6日間、根浜の宿『宝来館』周辺の森にて、人と地域をつなぐ場『コミもり』づくりを行いました。9月に1回目の制作を行い、今回は2回目です。コミもりとは、コミュニティーと森を合わせた造語で、北海道の団体発祥の取り組みです。森の手入れを通して、人と人、人と地域、人と森をつなぐという意味があります。

9月に引き続き、講師として長野県在住の美術家、小池雅久さんを招き、バイオマストイレやキッチン、かまどを制作しました。今回多くのボランティアさんにご協力いただき、9月の制作前とは見違えるような素敵な場所になりました。



さんつなはこのコミもりを、地域の方々が集まれる場として、また観光ツアーの拠点となる場として、今後使用する予定です。

## 11月9日 森のようちえん

市内外の親子6組が参加。完成したキッチンで火をおこし、ダッヂオーブンで料理をしました。



エコトイレ制作のお手伝いも  
したよ

## 11月22日 宝来館津波避難路『絆の道』完成記念式典

11月22日コミもりに隣接する避難路の完成記念式典が行われました。さんつなツアー参加者、ボランティアさんも整備に携わりました。



## KamaPro～釜石インターンシッププログラム～

さんつな、釜石リージョナルコーディネーター（通称：釜援隊）、釜石市との共同プロジェクトであるKamaPro。

さんつなでの震災以降のボランティア受入れのノウハウ、地域の人・企業・団体とのつながり、首都圏をはじめとする若者とのつながりを活かし、今年の9月11日よりインターンシップコーディネート事業を行っています。

釜石のために「本気のやりたい」ことがある事業者、地域と、その実現を応援したい外の人（首都圏の大学生など）を結びつけ、1か月以上のインターン活動を実施。釜石の「本気のやりたい」を実現する支援を行います。



## 挑戦者募集中！インターンシッププログラム

### 釜石産の海産物を使用した商品開発プロジェクト

受入先：釜石ヒカリフーズ株式会社

釜石産の鯖、ワカメなどを使用した商品開発のプロジェクトチームの一員になりませんか？商品の味、ロゴ、パッケージなど、商品開発の様々な場面に関わることができるプロジェクトです。



佐藤社長

実際の加工業  
も行います

### 宝来館と地域をつなぐ！

#### 食事の新メニュー&日帰り入浴プランの開発プロジェクト

受入先：有限会社宝来館

2015年4月のリニューアルオープンに向け、宿の基本的機能のレベルアップを目指します。食事の新メニュー開発、日帰り入浴プランの開発を行う『期間限定の若だんなor若おかみ』募集！



2015年春  
リニューアル  
オープン



宝来館女将

### 釜石市のUIターンを増やそう！

#### 新プロジェクトの立ち上げ&イベント企画者求む！

受入先：釜石市総務企画部 総合政策課

なりわいパンク（後継者不足の事業者と若者をつなぐプロジェクト）の立ち上げと、UIターン関連イベントの企画・実施することがインターン生への課題です！



総合政策課の  
一員として活動  
します



『本気のやりたい』があるという企業・団体・地域も絶賛募集中！詳しくはさんつなまで